



## 平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上石 芳昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 久保 裕

四半期報告書提出予定日 平成28年1月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-5408-3351

平成28年2月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	2,775	1.5	247	△0.0	269	2.5	175	9.6
27年5月期第2四半期	2,733	13.8	247	135.2	263	113.0	159	148.8

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 230百万円 (24.2%) 27年5月期第2四半期 185百万円 (161.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	35.55	—
27年5月期第2四半期	30.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第2四半期	8,800	7,958	90.4
27年5月期	9,359	7,827	83.6

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 7,958百万円 27年5月期 7,827百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年5月期	—	15.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,450	△6.3	370	△24.2	420	△21.4	295	△4.9	59.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期2Q	5,745,184 株	27年5月期	5,745,184 株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	822,634 株	27年5月期	822,634 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期2Q	4,922,550 株	27年5月期2Q	5,170,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明さから輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、雇用情勢や設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が継続しております。

情報サービス産業におきましては、企業収益の改善に伴い、大企業・非製造業などを中心にソフトウェア投資は緩やかな増加傾向で推移しました。

こうした環境の中、当社は、「社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする新たな3カ年の中期経営計画（平成27年6月～平成30年5月）を策定し、IoT、自動運転、環境・エネルギーをキーワードとし次なる中核ビジネスに注力すること、継続的な発展のために人材へ重点投資することに取り組んでまいりました。また、ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守まで行うことで顧客に最大のメリットを提供するトータルなソフトウェアエンジニアリングサービスについては、各BU（ビジネスユニット）ごとに目標と評価方法を明確にし、計画に従ったPDCAサイクルを回す取組みをこれまでどおり継続して推進しております。

当社が注力分野としている自動車の自動運転については、制御技術、画像解析技術、組込技術、近距離無線技術など複数のセグメントで得意とする技術力を結集し、当期より受注した安全運転支援システム案件でシステム開発に着手しました。

経営成績につきましては、交通システムと特定情報システムで第3四半期以降に検収が予定されていた案件が前倒しで検収されたことに加え、産業・公共システムで当初予定していなかった案件が工事進行基準適用対象となったことなどにより、売上、利益とも前倒しで計上されました。一方、前年に特定情報システムと産業・公共システムで大型案件を完遂し前年より売上が減少したことにより、全社的には売上、利益とも前年並みとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,775百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は247百万円（前年同期比0.0%減）、経常利益は269百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は175百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは、国内および海外案件とも作業量が増加し堅調に推移しました。また、プラント制御用コントローラーシステムは、横ばいで推移しました。

自動車の制御システムは、変速機制御ではCVT（無段階変速機）の開発量が増加したため、エンジン制御からシフトしました。また、新たに安全運転支援システム開発を受注しました。一方で、技術者のローテーションを行ったことでオーバーアサインが発生しました。

この結果、制御システム全体では、売上高は496百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は94百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

#### (交通システム)

交通システムでは、在来線の運行管理システムは、第3四半期以降に計画していた案件が前倒しで検収されたことで前年を上回りました。しかしながら、海外高速鉄道は試験フェーズとなり体制が縮小し、新幹線の運行管理システムは保守フェーズが継続しており開発案件が減少したことで、交通システム全体の売上は前年を下回りました。一方、在来線や新幹線で前年にあった瑕疵対応が解消されたことなどで利益は前年を上回りました。

この結果、売上高は181百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益は24百万円（前年同期比64.4%増）となりました。

#### (特定情報システム)

特定情報システムでは、危機管理関連は前年に大型案件を完遂したことに加え、顧客の開発量が減少したことなどで売上、利益とも前年を下回りました。また、地理情報関連も前年に大型案件を完遂したことで売上、利益とも前年を下回りました。一方、画像解析技術を活かした自動車の安全運転支援システム開発を開始しました。

この結果、売上高は264百万円（前年同期比20.2%減）、セグメント利益は56百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

## (組込システム)

組込システムでは、車載情報システムは、車載プラットフォーム関連、通信ミドルウェア関連とも堅調に推移しました。ストレージデバイスの組込システム開発も、コンシューマー向けで新機種への対応や企業向けで担当機能が拡大したことなどで開発量が増加し堅調に推移しました。また、ストレージサーバー開発は、開発作業がピークとなったことで売上、利益とも前年を上回りました。

この結果、売上高は685百万円(前年同期比10.7%増)、セグメント利益は147百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

## (産業・公共システム)

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、準天頂衛星システムは開発フェーズに入り体制が大きく拡大し、駅務機器開発は横ばいで推移しました。また、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスは、在来線システム開発などの収束に伴い作業量が減少しました。

産業向けにおいては、スポーツ関連システムは保守フェーズに入ったため売上、利益とも減少しましたが、コンビニ関連システムは開発フェーズに入ったことで体制が拡大しました。文書管理システムは、開発量が増加し堅調に推移し、新たに放送システム、認証許可システムを受注しました。

また、IoTへの取組みとして、関連する協会への加入や研究会への参加などを開始しました。

この結果、売上高は634百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益は159百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

## (ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は、デジタル家電製品の検証自動化ツール作成や自動車関連で作業量が増加するなど堅調に推移しました。構築業務は、金融業の構築作業がピークになるなど好調に推移しました。保守・運用業務は、企業内情報システムがシステム更改に伴い体制が拡大しました。また、会計システムは新規パッケージ開発がスタートしたことで体制が拡大しました。

この結果、売上高は512百万円(前年同期比15.6%増)、セグメント利益は102百万円(前年同期比21.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて558百万円減少して、8,800百万円となりました。この主な要因は、定期預金の長期から短期への振替、定期預金及び債券の満期償還、納税及び賞与の支払い等が生じたことによります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて690百万円減少して、841百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことによります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて131百万円増加して、7,958百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、90.4%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて177百万円増加して、990百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、134百万円(前年同期は48百万円の使用)となりました。主な要因は、納税及び賞与支払い等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、410百万円(前年同期は614百万円の獲得)となりました。主な要因は、定期預金の払戻及び有価証券の償還等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、98百万円(前年同期は662百万円の使用)となりました。主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、検収が前倒しとなった交通システムと特定情報システムは通期予想がほぼ当初計画値となる見込みであること、組込システムと産業・公共システムで作業量が減少する見込みであることなどにより、平成27年7月6日公表の平成28年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,612,692	2,190,395
受取手形及び売掛金	1,553,082	1,412,527
電子記録債権	810,676	511,281
有価証券	503,257	1,055,044
仕掛品	125,471	190,064
繰延税金資産	280,558	189,252
その他	37,155	106,987
流動資産合計	4,922,894	5,655,553
固定資産		
有形固定資産	217,922	213,830
無形固定資産	15,868	12,757
投資その他の資産		
投資有価証券	3,139,911	2,645,430
その他	1,062,522	272,727
投資その他の資産合計	4,202,434	2,918,157
固定資産合計	4,436,225	3,144,745
資産合計	9,359,120	8,800,298
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,761	67,781
未払法人税等	221,402	15,347
賞与引当金	673,689	365,357
その他の引当金	31,946	18,724
その他	436,538	251,187
流動負債合計	1,436,336	718,398
固定負債		
引当金	71,941	74,324
その他	23,638	48,761
固定負債合計	95,580	123,086
負債合計	1,531,917	841,484
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,718,651	4,795,219
自己株式	△754,212	△754,212
株主資本合計	7,777,696	7,854,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,505	104,549
その他の包括利益累計額合計	49,505	104,549
純資産合計	7,827,202	7,958,813
負債純資産合計	9,359,120	8,800,298

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	2,733,232	2,775,352
売上原価	2,161,012	2,196,226
売上総利益	572,219	579,125
販売費及び一般管理費	324,918	331,895
営業利益	247,301	247,230
営業外収益		
受取利息	12,090	12,006
受取配当金	248	3,873
保険解約返戻金	2,081	4,804
その他	2,230	2,025
営業外収益合計	16,650	22,710
営業外費用		
その他	681	30
営業外費用合計	681	30
経常利益	263,269	269,910
特別損失		
固定資産除却損	48	454
特別損失合計	48	454
税金等調整前四半期純利益	263,221	269,456
法人税、住民税及び事業税	65,425	4,135
法人税等調整額	38,102	90,302
法人税等合計	103,527	94,437
四半期純利益	159,693	175,019
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,693	175,019

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	159,693	175,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,524	55,043
その他の包括利益合計	25,524	55,043
四半期包括利益	185,218	230,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,218	230,062
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	263,221	269,456
減価償却費及びその他の償却費	10,565	11,896
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	48	454
受取利息及び受取配当金	△12,338	△15,880
引当金の増減額(△は減少)	△78,029	△319,171
売上債権の増減額(△は増加)	△137,580	439,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,937	△64,593
仕入債務の増減額(△は減少)	6,167	△4,979
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△8,194	△14,319
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△58,426	△65,214
その他の流動負債の増減額(△は減少)	56,956	△185,516
その他	△3,577	△6,829
小計	△29,125	45,252
利息及び配当金の受取額	22,604	25,182
その他の収入	5,504	9,917
法人税等の支払額	△47,108	△214,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,125	△134,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
定期預金の払戻による収入	800,000	800,000
有価証券の売却及び償還による収入	800,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,438	△2,468
無形固定資産の取得による支出	△3,050	△1,887
投資有価証券の取得による支出	△980,496	△184,784
その他	△297	99,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	614,718	410,280
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△579,503	—
配当金の支払額	△83,001	△98,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△662,505	△98,270
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△95,912	177,702
現金及び現金同等物の期首残高	902,778	812,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	806,866	990,395

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)  
【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	470,734	210,961	331,218	619,027	657,775	443,514	2,733,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	470,734	210,961	331,218	619,027	657,775	443,514	2,733,232
セグメント利益	116,275	15,192	72,152	144,440	161,603	84,176	593,840

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,733,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,733,232
セグメント利益	△346,538	247,301

(注) 1. セグメント利益の調整額△346,538千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△324,918千円及びその他△21,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	496,870	181,831	264,166	685,557	634,092	512,833	2,775,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	496,870	181,831	264,166	685,557	634,092	512,833	2,775,352
セグメント利益	94,036	24,981	56,378	147,260	159,178	102,392	584,229

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,775,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,775,352
セグメント利益	△336,998	247,230

(注) 1. セグメント利益の調整額△336,998千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△331,895千円及びその他△5,103千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	402,833	+13.6
交通システム	156,850	△19.9
特定情報システム	207,787	△19.8
組込システム	538,297	+13.4
産業・公共システム	474,913	△4.3
ITサービス	410,440	+14.2
合計	2,191,123	+2.4

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	555,290	+7.8	223,962	+36.6
交通システム	250,589	△15.0	164,232	△6.4
特定情報システム	299,336	△31.4	128,759	△33.0
組込システム	870,421	+24.0	257,817	+8.5
産業・公共システム	614,190	△11.3	190,035	△25.4
ITサービス	500,029	+10.5	123,298	+37.3
合計	3,089,858	△0.1	1,088,105	△2.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	496,870	+5.6
交通システム	181,831	△13.8
特定情報システム	264,166	△20.2
組込システム	685,557	+10.7
産業・公共システム	634,092	△3.6
ITサービス	512,833	+15.6
合計	2,775,352	+1.5

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	690,748	25.3	663,983	23.9
株式会社東芝	352,673	12.9	422,880	15.2
日立オートモティブシステムズ株式会社	293,030	10.7	304,660	11.0
アルパイン株式会社	—	—	291,752	10.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 前第2四半期連結累計期間におけるアルパイン株式会社に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。